

# 【小施策評価(平成29年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	観光交流課	
施策	24	観光の振興	評価 責任者	立花 恵史	内線 3720
小施策	24-2	観光地域づくりと滞在型観光の推進	評価 シート 作成者	真田 伸	内線 3721

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
北陸新幹線や北海道新幹線の開業による、観光交流の一層の活性化が期待される中、本市を訪れる多くの観光客に満足してもらえるよう、特産品や歴史文化などの地域資源を生かした観光地づくりを行うとともに、世界遺産の「平泉の文化遺産」や三陸復興国立公園など、県内・広域の観光資源と連携した観光宣伝や滞在型・周遊型観光への取組を推進する必要がある。	北東北の交通の結節点としての優位性を生かすとともに、盛岡の歴史、文化、先人、まち並みなど、地域資源を最大限に活用した観光地づくりや特産品の販路拡大、おもてなしの向上を進めるほか、まちなか観光の充実やMICE(マイス)誘致、広域連携による滞在型・周遊型観光など、盛岡ファンづくりに向けた取組を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	
国内外の人、市民	盛岡の魅力を多くの人に知ってもらう。

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点
指標① 宿泊観光客数	万人回	↗	・交流人口の拡大	・祭り・イベントの充実 ・盛岡デーなどを通じた誘客宣伝・特産品のPR	・交流人口の拡大に対し、宿泊客数が伸びていない。
当初値 (H25)	98	H31目標値 110	H36目標値 120		
指標② コンベンション開催支援件数	件	↗	・コンベンション支援件数の増加	・2016いわて国体開催の反動	・H28年度からH29年度にかけて開催件数は増加したが、全体としては当初値から横ばいで推移しており、増加できていない状況である。
当初値 (H25)	101	H31目標値 140	H36目標値 150		

## 今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 地域資源を最大限に活用した観光地域づくり</li> <li>★ まちなか観光の充実</li> <li>★ 広域連携による観光プロモーションの強化</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>★ MICE(マイス)誘致</li> <li>★ (公財)盛岡観光コンベンション協会等関係団体、民間事業者と連携した誘致宣伝活動</li> </ul>	